



用瀬図書館だより

2009年1月 復刊・第11号

鳥取市立用瀬図書館
TEL. 0858-87-2702
FAX. 0858-87-2732
鳥取市用瀬町用瀬104-2

開館20周年事業のご案内

用瀬図書館は、平成元年に用瀬町立図書館として開館以来、今年で20周年を迎えます。郷土資料館の一室から始まった図書館も市町村合併を経て、現在では鳥取市南部地域の地域館として、移動図書館車「やまなみ号」を運行するなど、図書館の整備充実が図られています。

「用瀬図書館の開館20周年を祝い会」の記念イベントを企画実行していただける方々を募集したところ、十数名の方が応募してくださいました。8月に初回の会合を開き、毎月1回の委員会を重ね、代表も決まり、記念事業の案の検討を重ねてきました。

開館20周年の記念事業として夏期の事業を開催することになりましたので、ご案内します。

古本市

日時：平成21年2月7日（土）～11日（水）[搬入受付：1月17日（土）～2月6日（金）]

場所：鳥取市立用瀬図書館

図書館フォーラム —みんなで考えよう 図書館の未来（あした）—

日時：平成21年2月14日（土）午後1時～4時30分

場所：用瀬町民会館 大研修室

日程：○朗読で名作を楽しむ会 「鳥取朗読の会」代表 八百谷 和子 氏

○ 記念講演 大山町教育長 山田 晋 氏

○ 図書館シンポジウム

末宗リツ子さんのおはなし会

日時：平成21年2月15日（日）午後1時30分～2時30分

場所：鳥取市立用瀬図書館 おはなしの部屋

詳細はチラシ、ホームページ等でお知らせします。用瀬図書館のお祝いにどうぞご参加ください。皆さまからのお祝いメッセージも募集しています。

用瀬在住・出身の方の作品掲載の本の紹介

『さんいんキラリ 夏号 2008No.13』

佐藤真菜さんのインタビュー特集

『鳥取文芸 第30号 特集 放哉ひとり』

谷本正迪さんの論考

『水曜サロン報告書IV 地域文化の再発見と情報発信「灯り・炎・祭り」』

綾木弘さんの雛祭りの論考

『平成20年度 鳥取県 合同歌集 第18集』

西尾憲治さんらの短歌を集録

『用瀬町美術展覧会作品』
第1回(2004)～5回(2008)
用瀬町中央公民館から寄
贈いただきました。

◆利用案内 どなたでも無料です

貸出期間と冊数

開館時間

一人10冊まで、2週間

10時～18時

休館日 ・毎週火曜日・祝祭日の翌日・毎月最終木曜日・年末年始・特別資料整理期間

【小説・随筆】

寒影	荒崎 一海
隠密拝命	稲葉 稔
彼岸花	宇江佐 真理
伴天連の呪い	逢坂 剛
尾瀬の墓標 (ケルン)	太田 蘭三
どこから行っても遠い町	川上 弘美
冬の喝采	黒木 亮
CC:カーボンコピー	幸田 真音
とんび	重松 清
草祭	恒川 光太郎
聖女の救済	東野 圭吾
ガリレオの苦悩	東野 圭吾
光	三浦 しをん
巢立ち	諸田 玲子
粗茶を一服	山本 一力
東天の獅子 第3巻	夢枕 獏
元職員	吉田 修一
小さな男*静かな声	吉田 篤弘
彼女について	よしもと ばなな
レンアイ相談	小手鞠 るい

【健康・料理・暮らし・他】

理科年表 平成21年	国立天文台/編
地球最後のオイルショック	デイヴィッド・ストーン
築地まるかじり 2009	毎日新聞社
幸せ料理研究家こうちゃんのご飯がススム! 幸せおかず	相田 幸二
100万人が選んだ大絶賛おかず	角川SSコミュニケーションズ
野菜のおかず	角川SSコミュニケーションズ
屏風	NHK「美の壺」制作班
日本語の正体	町田 健

【総記・歴史・社会】

子どもにとどく語りを	藤井 いづみ
かーかん、はあい	俵 万智
松居直のすすめる50の絵本	松居 直
感じる・調べる・もっと近づく仏像の本	仏像ガール
禅のいろは	玄侑 宗久
英傑の日本史 上杉越後軍団編	井沢 元彦
直江兼続の義と愛	火坂 雅志
福沢諭吉伝説	佐高 信
日本の論点 2009	文藝春秋/編

【郷土】

わたしの鳥取	木元 健二
最新版 週刊 日本百名山 2008年12月7日号No.45 (大山)	朝日新聞社
山陰の気象暦と潮汐 2009年版	日本気象協会中国支店
鳥取ぐるぐるがいど	鳥取シー・エム・シー
水曜サロン報告書 IV	とっとり政策総合研究センター編
第5回用瀬町美術展覧会作品	用瀬町文化団体連絡協議会
ディスカバー・ジャパン 2008. vol2	榊屋出版
鳥取文芸 第30号	
さては戀しき	西崎 昌
県民が語る太平洋戦争史	山本晴男
さじ民話会10周年記念誌	さじ民話会
中嶋須美子の語る ふる里ととりの民話(CD)	ねえよんでの会

【児童】

ふたご桜のひみつ	たから しげる
十二支のはやくちことばえほん	高島 純